

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸) 特別公開

いんえい

陰翳の中で

金繕いを再発見する。

二〇二六年十月三十一日(土)・十一月一日(日)・三日(火・祝) ※十一月二日(月)は休館
十時〜十六時(最終日は十五時終了)

◆ギャラリー案内(日本語)／

毎日一回・十三時から三十分程度(先着順十名)

主催／漆で器を繕う会

共催／川喜多・KBSグループ

(鎌倉市川喜多映画記念館 指定管理者)

会場／鎌倉市川喜多映画記念館の敷地内

旧川喜多邸別邸(旧和辻邸)

〒248-0005 鎌倉市雪ノ下二二二二

鎌倉駅から徒歩八分(地図は裏面)

入場料／特別展観覧料(一般＝500円、小・中学生＝250円)

*川喜多映画記念館にて開催の特別展

「LIVING IN CINEMA 俳優 役所広司」のチケットでご覧いただけます。

*鎌倉市民の方、障害者手帳をお持ちの方と介助者一名及び

市内に通学する小・中学生、友の会会員は無料になります。

*旧和辻邸内は、靴を脱いでご覧いただけます。

*展示品は販売いたしません。

*混雑状況により入場を制限する場合があります。



見立て 茶入 統制陶器(1940-1946)セ 484(瀬戸焼) | 金 (w40×d45×h55mm) 2021
佐久間年春 SAKUMA Toshiharu

漆繕いの起源は、室町時代の「茶の湯」にあります。電灯のない時代、人々は行灯や蠟燭の明かりのもと、繕われた器の「金」や「銀」を静かに愛でてきました。
谷崎潤一郎は『陰翳礼讃』において、陰翳の中にこそ日本独自の美が宿ると記しています。

ワレやカケを漆で繕い、金・銀・錫を時き、色漆を施した器を再び、暮らしの場へ。
「漆で器を繕う会」一人ひとりの心が込められた器を、本来の明かりと生活空間のもとお楽しみください。

◎参加者／MEMBERS

佐久間年春 SAKUMA Toshiharu

阿部睦 ABE Mutsumi

石塚聖 ISHIZUKA Hijiri

井関佳乃 ISEKI Yoshino

市川葉子 ICHIKAWA Yoko

井上清子 INOUE Kiyoko

内田加寿子 UCHIDA Kazuko

大出圭子 OIDE Keiko

クフシノフ麻衣 KUVSHYNOV Mai

クリス智子 CHRIS Tomoko

黒沢ミユキ KUROSAWA Miyuki

慶尾有紀 KEIO Yuki

桂野谷寿子 KEINO Yasuko

外川陽一 SOTOKAWA Yoichi

竹鼻秀実 TAKEHANA Hidemi

手塚理恵子 TEZUKA Rieko

中川郁子 NAKAGAWA Ikuko

早川三津子 HAYAKAWA Mitsuko

福嶋紳一郎 FUKUSHIMA Shinichiro

藤満妙子 FUJIMITSU Taeko

古川由縁 FURUKAWA Yukari

松浦有紀子 MATSUURA Yukiko

宮巻麗 MIYAMAKI Rei

諸泉友香 MOROIZUMI Yuka

矢野賢 YANO Ken

山口マサル YAMAGUCHI Masaru